

参考文献等一覧

【哺乳類】

- 1 青井俊樹・前田喜四雄. 1997: チョウセンイタチ侵入地域におけるニホンイタチの生息分布とその保全に関する研究. 第6期プロ・ナトゥーラ・ファンダ助成成果報告書(1997), 7-11.
- 2 藤川八郎. 1988: 友ヶ島のタイワンリスの生態. 紀州生物, (15・16・17).
- 3 日高敏隆監修. 1996: 日本動物大百科 哺乳類Ⅰ. 156pp. 平凡社, 東京.
- 4 日高敏隆監修. 1996: 日本動物大百科 哺乳類Ⅱ. 154pp. 平凡社, 東京.
- 5 環境省. 2018: 平成29年度友ヶ島等におけるシカ属遺伝子分析調査業務報告書. 18pp.
- 6 関西自然保護機構(編). 1983: 友ヶ島学術調査. 296pp. 和歌山市.
- 7 川本 芳・白井 啓・荒木伸一・前野恭子. 1999: 和歌山県におけるニホンザルとタイワンザルの混血の事例. 霊長類研究 Primate Res., **15**, 53-60.
- 8 川本 芳・大沢秀行・和 秀雄・丸橋珠樹・前川慎吾・白井 啓・荒木伸一. 2001: 和歌山県におけるニホンザルとタイワンザルの交雑に関する遺伝学的分析. 霊長類研究 Primate Res., **17**, 13-24.
- 9 国立環境研究所. 侵入生物データベース 日本の外来種全種リスト(暫定版). 国立環境研究所ホームページ: <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/resources/listja Vertebrates1.html> (参照 2018-09-22).
- 10 小宮輝之. 2002: 日本の哺乳類. 255pp. 学習研究社, 東京.
- 11 増田隆一. 2011: ハクビシンの多様性科学. 哺乳類科学, **51**(1), 188-191.
- 12 松本悠貴・幸田良介. 2018: ホンシュウジカと和歌山県沖の島(友ヶ島)の移入ジカを識別するための核遺伝マーカーの開発. 地域自然史と保全, **40**(1), 35-40.
- 13 Matsumoto Yuki, Yu-ten Ju, Tadashi Yamashiro, Asuka Yamashiro. 2015: Evidence of pre-introduction hybridization of Formosan sika deer (*Cervus nippon taiouanus*) on Okinoshima, Wakayama Prefecture, Japan, based on mitochondrial and nuclear DNA sequences. Conserv Genet(2015), **16**, 497-502.
- 14 森光由樹・白井 啓・吉田敦久・清野紘典・和 秀雄・鳥居春己・川本 芳・大沢秀行・室山泰之・和歌山タイワンザルワーキンググループ. 2006: 第22回日本霊長類学会大会口頭発表抄録 和歌山タイワンザル(特定外来生物)の現状報告. J-STAGE: <https://doi.org/10.14907/primate.22.0.50.0> (参照 2018-09-22).
- 15 日本生態学会(編). 2002: 外来種ハンドブック. 390pp. 地人書館, 東京.
- 16 農林水産省. 2010: 野生鳥獣被害防止マニュアル 特定外来生物編. 185pp.
- 17 佐藤 浩. 2006: 特集 家畜と野生動物における人と動物の共通感染症: アライグマ回虫症. 獣医畜産新報 JVM, **59**(8), 653-658.
- 18 鈴木和男. 2017: 2016年度鳥獣対策調査活動報告. 田辺市ふるさと自然公園センター.
- 19 鈴木和男. 2018: 2017年度鳥獣対策調査活動報告. 田辺市ふるさと自然公園センター.
- 20 鈴木欣司. 2005: 日本外来哺乳類フィールド図鑑. 271pp. 旺文社, 東京.
- 21 田辺鳥獣害対策協議会. 2005: 田辺市におけるアライグマ調査報告書. 66pp.
- 22 田辺鳥獣害対策協議会. 2007: 田辺鳥獣害調査研究報告書. 80pp.
- 23 和歌山県. 2017: 和歌山県ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画(第3期). 29pp.
- 24 和歌山県. 2017: 「大池地域のタイワンザル及びニホンザルとの交雑ザルの群れ」の根絶について. 和歌山県ホームページ: http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/26566_0.pdf (参照 2018-09-22).
- 25 和歌山県立自然博物館. 1983: 帰化生物. 54pp.

- 26 野生動物保護管理事務所. 2017:平成 28 年度瀬戸内海国立公園友ヶ島におけるシカ属生息状況調査業務報告書. 53pp.

【鳥類】

- 1 川上和人・叶内拓哉. 2012:外来鳥ハンドブック. 80pp. 文一総合出版, 東京.
- 2 国立環境研究所. 侵入生物データベース. 国立環境研究所ホームページ: <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/index.html>
- 3 日本鳥学会. 2012:日本鳥類目録 改訂第7版. 438pp. 日本鳥学会.
- 4 日本野鳥の会和歌山県支部. いっぴつ啓上 1~134号. 日本野鳥の会和歌山県支部.
- 5 沼野正博. 2018:和歌山県鳥類目録. 21pp. 和歌山県立日高高等学校生物部・日本野鳥の会和歌山県支部.

【爬虫類】

- 1 環境庁自然保護局野生生物課. 2000:改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 爬虫類・両生類. 120pp. 財団法人 日本野生生物研究センター, 東京.
- 2 国立環境研究所. 侵入生物データベース. 国立環境研究所ホームページ: <https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/30050.html> (参照 2018-09-06).
- 3 岡田 純. 1998:和歌山県で発見されたミナミヤモリ. 比婆科学, (184), 15-18.
- 4 清水善吉. 2017:三重県で発見されたミナミヤモリ. 南紀生物, **59**(2), 124-127.
- 5 玉井済夫. 1999:和歌山県の両生類・爬虫類 ~現状と課題~. 和歌山県高等学校理科研究会会誌, (35), 7-18.
- 6 内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎. 2002:決定版・日本の両生爬虫類. 335pp. 平凡社, 東京.
- 7 和歌山県環境生活部環境生活総務課. 2001:保全上重要なわかやまの自然 一和歌山県レッドデータブッカー. 75-79. 和歌山県.
- 8 和歌山県環境生活部環境生活総務課. 2012:2012年改訂版・保全上重要なわかやまの自然 一和歌山県レッドデータブッカー. 63-67. 和歌山県.

【両生類】

- 1 環境庁自然保護局野生生物課. 2000:改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 爬虫類・両生類. 120pp. 財団法人 日本野生生物研究センター, 東京.
- 2 前田憲男・松井正文. 1999:改訂版・日本カエル図鑑. 223pp. 文一総合出版, 東京.
- 3 大上常太郎. 1955:趣味の紀州生物 ~その三 オオサンショウウオ~. 28-29. 月刊観光紀州. 月刊紀州社, 和歌山.
- 4 清水善吉・玉井済夫. 2016:和歌山県のオオサンショウウオ. 南紀生物, **58**(1), 99-106.
- 5 玉井済夫. 1999:和歌山県の両生類・爬虫類 ~現状と課題~. 和歌山県高等学校理科研究会会誌, (35), 7-18.
- 6 玉井済夫. 2012:田辺市にすむ外来種アフリカツメガエル (*Xenopus laevis*) について. 南紀生物, **54**(1), 91-92.
- 7 玉井済夫・後藤 伸・池田博美. 1976:平井川のオオサンショウウオの生息状況及び生息環境についての調査. 和歌山県自然環境保全地域候補地調査報告書, 平井川, 1-17. 和歌山県.
- 8 東京大学大学院理学系研究科・理学部広報室. 2016:アフリカツメガエルの複雑なゲノムを解読:脊椎動物への進化の原動力「全ゲノム重複」の謎に迫る. 東京大学大学院理学系研究科・理学部ホームページ: <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/info/5056/> (参照 2018-09-12).

- 9 内山りゅう・前田憲男・沼田研児・関慎太郎. 2002: 決定版・日本の両生爬虫類. 335pp. 平凡社, 東京.
- 10 和歌山県環境生活部環境生活総務課. 2001: 保全上重要なわかやまの自然 ―和歌山県レッドデータブック―. 81-89. 和歌山県.
- 11 和歌山県環境生活部環境生活総務課. 2012: 2012年改訂版・保全上重要なわかやまの自然 ―和歌山県レッドデータブック―. 69-79. 和歌山県.

【魚類】

- 1 土井 浩. 1992: 紀ノ川の魚類 I -下流域を中心にして-. 南紀生物, **34**(1), 33-46.
- 2 土井 浩. 2008: 和歌山県初記録のオヤニラミ. 紀州生物, (37), 7.
- 3 平嶋健太郎. 2006: 釣り餌用生きエビに混入する外来魚. 南紀生物, **48**(1), 1-5.
- 4 平嶋健太郎. 2010: 和歌山市内に外来ナマズ. 自然博物館だより, **28**(4), 6.
- 5 平嶋健太郎. 2011: オヤニラミの憂鬱. 自然博物館だより, **29**(1), 6.
- 6 平嶋健太郎. 2011: 紀ノ川水系でコクチバスを発見. 自然博物館だより, **29**(2), 2.
- 7 平嶋健太郎. 2014: 紀伊半島におけるシマヒレヨシノボリの地理的分布. 和歌山県立自然博物館館報, (32), 41-62.
- 8 海南市史編さん委員会. 1990: 海南市史, 第2巻各説編. 海南市. 132-140.
- 9 国土交通省. 1996: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 新宮川.
- 10 国土交通省. 1998: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 紀の川.
- 11 国土交通省. 2001: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 新宮川.
- 12 国土交通省. 2003: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 紀の川.
- 13 国土交通省. 2006: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 新宮川.
- 14 国土交通省. 2008: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 紀の川.
- 15 国土交通省. 2011: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 新宮川.
- 16 国土交通省. 2013: 河川環境データベース (河川水辺の国勢調査), 紀の川.
- 17 久保喜計・細谷和海. 2007: 和歌山市磯ノ浦沖合で漁獲されたアマゴ. 近畿大学農学部紀要, 40, 81-83.
- 18 牧 岩男. 1988: 紀の川の魚類(4). 自然博物館だより, **6**(2), 2.
- 19 中島 淳・内山りゅう. 2017: 日本のドジョウ 形態・生態・文化と図鑑. 223pp. 山と溪谷社, 東京.
- 20 中谷義信. 1991: ため池でピラニア釣り. 自然博物館だより, **9**(3), 7.
- 21 中谷義信. 1991: 1,000匹のタイワンドジョウ. 自然博物館だより, **9**(4), 7.
- 22 中谷義信. 2006: 亀ノ川でビワヒガイ *Sarcocheilichthys variegatus variegatus* を採集. 自然博物館だより, **24**(3), 5.
- 23 中谷義信. 2013: 土入川のアリゲーター・ガー *Atractosteus spatula* (Lacépède, 1803). 自然博物館だより, **31**(4), 6.
- 24 中谷義信. 2016: 観賞用メダカと在来メダカとの自然交雑?. 自然博物館だより, **34**(3), 6.
- 25 中谷義信・平嶋健太郎. 2000: 特別展「和歌山県への帰化淡水魚」の開催. 自然博物館だより, **18**(3), 3.
- 26 中谷義信・吉田 誠. 1998: タイワンドジョウ *Channa maculata* とカムルチー *Channa argus* の自然交雑について. 和歌山県立自然博物館館報, (16), 23-28.
- 27 中谷義信・吉田 誠・平嶋健太郎. 1999: タイワンドジョウ *Channa maculata* とカムルチー *Channa argus* の自然交雑について(2). 和歌山県立自然博物館館報, (17), 25-28.

- 28 武内啓明・朝井俊亘・内山りゅう・細谷和海．2011：近畿大学農学部所蔵の内山りゅう魚類標本コレクション．近畿大学農学部紀要，(44)，63-87.
- 29 田名瀬英明・樫山嘉郎．1986：白浜町で繁殖するタイリクバラタナゴ．南紀生物，**28**(2)，142-143.
- 30 津田松苗・御勢久右衛門．1954：奈良縣綜合文化調査報告書 野川流域．奈良縣教育委員会，奈良，201-220.

【昆虫類】

- 1 乾風 登・後藤 伸・吉田元重．1983：友ヶ島の昆虫綱目録．関西自然保護機構（編）．友ヶ島学術調査，253-273．和歌山市．
- 2 乾風 登・弓場武夫．2002：大杉谷・黒蔵谷の水生昆虫目録 大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然環境調査報告集，119-122．和歌山県自然環境研究会．
- 3 朝比奈正二郎．1991：日本産ゴキブリ類．253pp．中山書店，東京．
- 4 後藤 伸．1988：神島の昆虫相 神島の生物．和歌山県田辺湾神島陸上生物調査報告書，67-79．
- 5 後藤 伸．1996：蝶類雑記 16 龍門山のギフチョウについて．KINOKUNI，(49)，1-5．
- 6 林 正美・宮本正一．2005：半翅目．川合禎次・谷田一三（共編）．日本産水生昆虫 科・属・種への検索，291-378．東海大学出版会，神奈川．
- 7 樫山嘉郎・久保田信．2010：和歌山県白浜町の海岸へ漂着した2個体目のサツマゴキブリ．KINOKUNI，(77)，22．
- 8 楠井善久．2010：熊野古道の昆虫記（7）温泉の島、那智勝浦町中ノ島のゴキブリ類について．KINOKUNI，(77)，14-15．
- 9 的場 績．1988：森林生活をするクロゴキブリ．南紀生物，**30**(1)，44．
- 10 的場 績．1994：和歌山県産甲虫類既報の整理．KINOKUNI，(46)，20．
- 11 的場 績．1998：ギフチョウ生息確認調査会の実施報告．KINOKUNI，(53)，33．
- 12 的場 績．2003：和歌山県産ゴキブリ目とカマキリ目既報の整理．KINOKUNI，(64)，16-18．
- 13 的場 績．2017：アカハネオンブバッタの和歌山県からの記録．KINOKUNI，(92)，10．
- 14 的場 績．1995～2014：和歌山県産甲虫類既報の整理 訂正と追加1～16．KINOKUNI，(48)～(86)．
- 15 松野茂富・村瀬ますみ．2017：和歌山県におけるアカハネオンブバッタ及びオンブバッタの記録．KINOKUNI，(92)，8-9．
- 16 村瀬ますみ・的場 績．1998：和歌山県産蛾類既報の整理．KINOKUNI，supl.1．
- 17 村瀬ますみ・的場 績．2000～2005：和歌山県産蛾類既報の整理に追加する文献(1)～(3)．KINOKUNI，(58)～(68)．
- 18 中村剛之．2014：チョウバエ科．日本昆虫目録編集委員会 編集，日本昆虫学会 発行．日本昆虫目録 第8巻 双翅目（第1部 長角亜目—短角亜目無額囊節），161-169．權歌書房，東京．
- 19 中谷憲一・今給黎靖夫・金沢 至・河合正人．2003：トガリアメンボの発見と生息環境．Nature study，**49**(2)，3-5．
- 20 西野洋樹・松野茂富．2017：和歌山県でムネアカオオクロテントウを採集，KINOKUNI，(92)，15-16．
- 21 山尾あゆみ・中尾史郎．2003：近畿地方におけるトガリアメンボ亜科の1種，*Rhagadotarsus kraepelimi* の定着と分布拡大．南紀生物，**45**(1)，15-20．

【貝類】

- 1 Alpha, C. 1993: Alien snails threaten Hawaiian Wetland ecosystems. Hawaiian Shell News. **41**(12), 1-5.
- 2 張 寛敏. 1985: 台湾で農害猖獗のリンゴガイ. ちりぼたん, **16**(1), 1-7.
- 3 江川和文. 1981: シマメノウフネガイ有田市より産出. 南紀生物, **23**(1), 8.
- 4 江川和文. 1981: 有田市産シマメノウフネガイの産出状況. 南紀生物会報, (20), 12-13.
- 5 江川和文. 1985: シマメノウフネガイの分布とその伝播状況. ちりぼたん, **16**(2), 37-44.
- 6 江川和文. 2005: 和歌山県有田川河口域の貝類相 2. 二枚貝綱. 南紀生物, **47**(1), 45-50.
- 7 江川和文・玉田一晃. 2004: 和歌山県におけるオオクビキレガイの生息記録. 南紀生物, **46**(2), 106-108.
- 8 江川和文・土岐頼三郎. 2010: 和歌山県におけるタイワンレイシの産出記録(軟体動物門、腹足綱、アクキガイ科). 南紀生物, **52**(1), 51-53.
- 9 藤田昂己. 2006: 紀ノ川大堰周辺で確認できた生物. くろしお, (25), 22.
- 10 古川博二. 1949: サカマキガイに就いて. 兵庫生物, (3), 27.
- 11 波部忠重. 1961: 続原色日本貝類図鑑. 183pp. 66pls. 保育社, 大阪.
- 12 池辺進一・吉田 誠(編). 2006: 池辺進一コレクション 貝類標本目録. 164pp. 和歌山県立自然博物館, 海南.
- 13 今原幸光・岡本 洋・久保田信. 2001: 紀伊水道東岸で定着したミドリイガイ(二枚貝綱、イガイ目): 和歌山県北部での初記録. 南紀生物, **43**(1), 73-74.
- 14 岩崎敬二・池辺進一. 2010: 外来二枚貝ウスカラシオツガイの日本での初発見年と分布拡大、および九州での初記録について. ちりぼたん, **41**(1), 18-25.
- 15 Iwasaki, K. and H. Yamamoto. 2014: Recruitment and population structure of the non-indigenous brackish-water mytilid *Xenostrobus securis* (Lamarck, 1819) in the Kino River, Japan. Aquatic Invasions, **9**, 479-487.
- 16 岩崎敬二・木村妙子・木下今日子・山口寿之・西川輝昭・西榮二郎・山西良平・林 育夫・大越健嗣・小菅丈治・鈴木孝男・逸見泰久・風呂田利夫・向井 宏. 2004: 日本における海産生物の人為的移入と分散: 日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から. 日本ベントス学会誌, **59**, 22-44.
- 17 環境省自然環境局生物多様性センター. 2007: 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書. 235pp.+99pp. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 18 狩野泰則・福田 宏. 2001: 外来種チャコウラナメクジ(腹足綱:有肺目:コウラナメクジ科)の山口県における分布と成熟度の季節変化. ユリヤガイ, **8**(1), 1-13.
- 19 川瀬基弘. 2002: 矢作川河口域における干潟の底生生物相. 矢作川研究, (6), 81-98.
- 20 木邑聡美・野元彰人・和田恵次・杉野伸義. 2004: 和歌山県北中部の河口・干潟域における大型底生動物相(I). 南紀生物, **46**(1), 31-36.
- 21 国土交通省. 2018: 河川環境データベース河川水辺の国勢調査. 国土交通省ホームページ: <http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/> (参照 2018-07-11).
- 22 Kubota, S. 2004: Some new and reconfirmed biological observations in two species of *Eugymnanthea* (Hydrozoa, Leptomedusae, Eirenidae) associated with bivalves. Biogeography, **6**, 1-5.
- 23 久保田信. 2007: 和歌山県田辺湾およびその周辺海域におけるムラサキイガイ個体群の激減とミドリイガイの増加. 南紀生物, **49**(1), 81-82.

- 24 Kuroda, T. 1941: A catalogue of molluscan shells from Taiwan (Formosa), with descriptions of new species. Mem. Fac. Sci. Agri. Taihoku Imperial Univ., **22**(4), 65-216. pls. 8-14.
- 25 黒住耐二. 2012: チャコウラナメクジ. In 梅谷献二 (編). 原色図鑑 外来害虫と移入天敵, p. 291. 全国農村教育協会, 東京.
- 26 Lamarck. 1818: Histoire naturelle des animaux sans vertèbres V. 612pp.
- 27 Lamarck. 1819: Histoire naturelle des animaux sans vertèbres VI. 343pp.
- 28 Lamarck. 1822: Histoire naturelle des animaux sans vertèbres VII. 710pp.
- 29 Linnaeus, C. 1758: Systema Naturae, editio decima, 823pp.
- 30 増田 修. 2010: 兵庫県初記録の外来淡水腹足綱コモチカワツボ (ミズツボ科). 兵庫陸水生物, (61), 149-153.
- 31 増田 修・内山りゅう. 2004: 日本産淡水貝類図鑑②、汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ, 東京.
- 32 松隈明彦・武田悟史. 2009: 外来種オオクビキレガイ (軟体動物門腹足綱) の日本での分布状況と移動方法. 付録-農林水産省植物防疫所植物検疫統計-輸入植物検査病菌・害虫発見記録 (1997-2007) の軟体動物. 九州大学総合研究博物館研究報告, (7), 35-84.
- 33 松隈明彦・秋月定良・秋月シズカ・嶺井久勝. 2006: 偶発的移入種オオクビキレガイ (腹足綱: オカクチキレガイ科) の福岡県での生息状況とその拡散速度. ちりぼたん, **37**(1), 7-12.
- 34 湊 宏. 2005: 双島 (串本町) の陸産貝類、特にミジンマイマイ類の分類について. 南紀生物, **47**(1), 37-42.
- 35 湊 宏・魚住賢司. 1991: 北九州で見つかったオオクビキレガイ. ちりぼたん, **22**(2), 72-74.
- 36 湊 宏・真鍋 豊. 2016: 移入種・ヌノメカワニナ (トウガタカワニナ科) の白浜“大谷浜”への侵入. 南紀生物, **58**(2), 203-205.
- 37 湊 宏・久保田信・土生紳吾. 2002: 白浜町沿岸に漂着したオオクビキレガイ (腹足綱、有肺亜綱). 南紀生物, **44**(1), 64-65.
- 38 湊 宏・久保田信・土生紳吾. 2005: 再び白浜町沿岸にオオクビキレガイが漂着. くろしお, (24), 5-6.
- 39 中井克樹・松田征也・上西 実. 1994: 滋賀県守山で確認された移入種、ヌノメカワニナ *Melanoides tuberculata* (Müller) (中腹足目、トウガタカワニナ科 Thiaridae) について (予報). 琵琶湖文化館研究紀要, **12**, 23-27.
- 40 中本博之・江川和文. 2010: 串本町上浦海岸から採集したタイワンレイシ (軟体動物門、腹足綱、アクキガイ科). くろしお, (29), 10-11.
- 41 中本博之・江川和文. 2011: 和歌山市におけるタイワンシジミの記録. くろしお, (30), 10-11.
- 42 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2006: 和歌山市名草浜の貝類 2 腹足類②. 南紀生物, **48**(2), 159-164.
- 43 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2007: 有田川河口で観察した貝類. くろしお, (26), 52-54.
- 44 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2007: 和歌山市名草浜の貝類 3 腹足綱③. 南紀生物, **49**(1), 73-78.
- 45 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2007: 和歌山市名草の浜の貝類 4 掘足綱・二枚貝綱①. 南紀生物, **49**(2), 137-142.

- 46 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2008 : 和歌山市名草浜の貝類 5 二枚貝綱②・頭足類および追補. 南紀生物, **50**(1), 134-139.
- 47 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2013 : 和歌山市加太周辺の貝類相VI. 南紀生物, **55**(2), 153-158.
- 48 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2014 : 和歌山市加太海岸周辺の貝類相VII. 南紀生物, **56**(1), 66-71.
- 49 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・三長孝輔・江川和文. 2006 : 紀伊水道周辺におけるオオネズミガイの産出状況(軟体動物門、腹足綱、タマガイ科). 南紀生物, **48**(2), 153-156.
- 50 西村 正・波部忠重. 1985 : 秋田県男鹿市で中国産淡水貝カワムラガイとタイワンシジミを買う. ちりばたん, **16**(2), 62-63.
- 51 野田圭典・中本博之・土岐頼三郎・江川和文. 2009 : 和歌川河口奥部の貝類相II. 南紀生物, **51**(2), 83-88.
- 52 大垣俊一. 2007 : 田辺湾周辺における移入海産生物の出現傾向. 南紀生物, **49**(1), 16-22.
- 53 大阪湾海岸生物研究会. 1986 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 1981~1985年の調査結果. 自然史研究, **2**(2), 35-49.
- 54 大阪湾海岸生物研究会. 1993 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 1986~1990年の調査結果. 自然史研究, **2**(9), 129-141.
- 55 大阪湾海岸生物研究会. 1996 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 1991~1995年の調査結果. 自然史研究, **2**(12), 167-179.
- 56 大阪湾海岸生物研究会. 2002 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 1996~2000年の調査結果. 自然史研究, **3**(1), 1-14.
- 57 大阪湾海岸生物研究会. 2007 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 2001~2005年の調査結果. 自然史研究, **3**(6), 93-106.
- 58 大阪湾海岸生物研究会. 2012 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 2006~2010年の調査結果. 自然史研究, **3**(13), 211-224.
- 59 大阪湾海岸生物研究会. 2018 : 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相 : 2011~2015年の調査結果. 自然史研究, **4**(2), 17-38.
- 60 坂下泰典・江川和文. 2012 : 鹿児島県におけるカワニナ諸種の分布記録. 九州の貝, (78), 15-21.
- 61 品川和久. 1981 : ハブタエモノアラガイ(和名新称)について. かいなかま, **15**(3), 13-14.
- 62 自然環境センター(編). 2010 : ヌノメカワニナ., チャコウラナメクジ. In 自然環境保全基礎調査 動物分布調査 日本の動物分布図集, p.0786, 0892. 環境省自然保護局 生物多様性センター, 富士吉田.
- 63 高倉耕一. 2008 : 大阪およびその周辺地域における外来巻貝ハブタエモノアラガイ *Lymnaea columella* (Say)とその自家受精による繁殖能力. 大阪市立環境科学研究所報告, **70**, 43-51.
- 64 高橋 茂. 1980 : 東毛の淡水貝. ちりばたん, **11**(2), 34-36., 表紙3面(図版).
- 65 瀧 巖. 1943 : 瀬戸内海産軟体動物(2). 貝類学雑誌, **13**(2), 111-118.
- 66 田名瀬英朋・久保田信. 1996 : 和歌山県田辺湾のミドリイガイ(二枚貝綱、イガイ目). 南紀生物, **38**(1), 11-12.
- 67 田名瀬英朋・久保田信. 1996 : ミドリイガイ(二枚貝綱、イガイ目)は和歌山県田辺湾で冬越し可能. 南紀生物, **39**(1), 21-22.

- 68 土岐頼三郎・中本博之・野田圭典・江川和文. 2005 : 和歌山県紀の川河口域の貝類相 1. 腹足綱. 南紀生物, **47**(2), 191-196.
- 69 土岐頼三郎・中本博之・野田圭典・江川和文. 2006 : 和歌山県紀の川河口域の貝類相 2. 二枚貝綱. 南紀生物, **48**(1), 69-74.
- 70 土岐頼三郎・中本博之・野田圭典・江川和文. 2011 : 和歌山県紀ノ川河口域の貝類相 (補遺). 南紀生物, **53**(1), 91-94.
- 71 浦辺美佐子. 2007 : 本邦におけるコモチカワツボ現状と課題. 陸水学雑誌, **68**(3), 491-496.
- 72 吉葉繁男. 1972 : アフリカマイマイを中間宿主とする寄生虫について. ちりぼたん, **7**(4), 76-77.

その他の情報源

- 1 岩崎敬二. 2017~2018 : 和歌山県レッドデータブック改訂関連現地調査結果.

【その他無脊椎動物】

- 1 秋田正人. 1989 : カブトエビ 小さな卵の秘密. 111pp. 八坂書房, 東京.
- 2 陳 融武・渡辺精一・横田賢史. 2003 : 日本におけるチチュウカイミドリガニ *Cancer aestuarii* の分布拡大. *Cancer*, **12**, 11-13.
- 3 後藤岳志. 1978a : クロガケジグモの生活. *Atypus*, (71), 40-43.
- 4 後藤岳志. 1978b : クロガケジグモの飼育. *Atypus*, (72), 31-32.
- 5 長谷川政智・池田 実・藤本泰文. 2015 : 宮城県に侵入した淡水エビ : カワリヌマエビ属 *Neocaridina* spp. の分布拡大とヌカエビ *Paratya compressa improvisa* への影響. 伊豆沼・内沼研究報告, **9**, 47-56.
- 6 弘富士夫. 1938 : *Balanus amphitrite* Darwin の日本産品種に就て. 動物学雑誌, **50**(6), 299-313.
- 7 今原幸光・江川和文・児島格・小山安生・和田恵次. 1998 : 和歌川河口干潟で観察した動物・貝類. くろしお, (17), 64-65.
- 8 Imajima, M. 1976 : Serpulinae (Annelida, Polychaeta) from Japan. I. The genus *Hydrodes*. *Bull. Natn. Sci. Mus. Ser. A (Zool.)*, **2**(4), 229-248.
- 9 岩崎敬二・木村妙子・木下今日子・山口寿之・西川輝昭・西榮二郎・山西良平・林 育夫・大越健嗣・小菅丈治・鈴木孝男・逸見泰久・風呂田利夫・向井 宏. 2004 : 日本における海産生物の人為的移入と分散 : 日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から. 日本ベントス学会誌, **59**, 22-44.
- 10 金田彰二・倉西良一・石綿進一・東城幸治・清水高男・平良裕之・佐竹 潔. 2007 : 日本における外来種フロリダマミズヨコエビ (*Crangonyx floridanus* Bousfield) の分布の現状. 陸水学雑誌, **68**(3), 449-460.
- 11 環境省自然環境局生物多様性センター. 2007 : 第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟調査) 報告書. 235pp+99pp. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.
- 12 Karasawa, S., S. Nagata, J. Aoki, K. Yahata and M. Honda. 2015 : Phylogeographic study of whip scorpions (Chelicerata: Arachnida: Thelyphonida) in Japan and Taiwan. *Zoological Science*, **32**(4), 352-362.
- 13 Kawahara, T. 1963 : Invasion into Japanese water by the European barnacle *Balanus improvisus* Darwin. *Nature*, **198**, 301.
- 14 川勝正治・西野麻知子・大高明史. 2007 : プラナリア類の外来種. 陸水学雑誌, **68**(3), 461-469.

- 15 Kawakatsu, M., Oki, I., Tamura, S., Yamayoshi T., Hauser, J., and Friedrich, S. 1981: Morphological, karyological and taxonomic studies of freshwater planarians from south Brasil II. *Dugesia tigrina* (Girard, 1850) (Turbellaria, Tricladida, Paludicola). Bull. Fiji Women' s College, No.19, Ser.II:113-136.
- 16 Kawakatsu, M., Nishino, M., Ogata, K., Kuranishi, R.B., Kobayashi, N. and Ohtaka, A. 2012: Two north American freshwater planarian species now naturalized in Japan: *Girardia tigrina* (Girard, 1850) and *Girardia dorotocephala* (Woodworth, 1897) - in connection with the field survey of benthic invertebrates-. Kawakatsu' s Web library on Planarians: December 15, 2012: http://www.riverwin.jp/pl/jp_g/Kawakatsu%20et%20al%202012%20Girar-%20dias%20Dr%20Jones.pdf (参照 2018-07-11) .
- 17 紀伊民報. 2017: 白浜で有毒のセアカゴケグモ「素手で触らないで」(2017年6月12日夕刊). 紀伊民報ホームページ:<http://www.agara.co.jp/news/daily/?i=335005&p=more> (参照 2018-06).
- 18 木邑聡美・野元彰人・和田恵次・杉野伸義. 2004: 和歌山県北中部の河口・干潟域における大型底生動物相 (II) . 南紀生物, **46**(2), 137-141.
- 19 小林新二郎. 1941: 四国、中国、近畿及び中部諸地方の陸棲貧毛類に就て. 動物学雑誌, **53**(5), 258-266.
- 20 国土交通省. 2018: 河川環境データベース河川水辺の国勢調査. 国土交通省ホームページ:<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkankyo/> (参照 2018-07-11).
- 21 昆虫情報処理研究会. 2018: ゴケグモ情報センター. 昆虫情報処理研究会ホームページ:<http://www.insbase.ac/xoops2/modules/bwiki/> (参照 2018-06).
- 22 小坂昌也・石橋 公. 1979: 清水港における移入種アメリカフジツボ *Balanus eburneus* の生態分布. 付着生物研究, **1**(1), 3-10.
- 23 久保田信. 2007: 和歌山県みなべ町で最近採集されたマミズクラゲ (ヒドロ虫綱、淡水クラゲ目、ハナガサクラゲ科) の成熟クラゲ. くろしお, (26), 24.
- 24 久保田信・田名瀬英朋. 2006: 和歌山県中南部域で最近採集されたマミズクラゲ (ヒドロ虫綱、淡水クラゲ目、ハナガサクラゲ科) の成熟クラゲの生物学的記録. 日本生物地理学会会報, **61**, 75-79.
- 25 Mitsugi, M., Hisamoto, Y. & Suzuki, H. 2017: An invasive freshwater shrimp of the genus *Neocaridina* Kubo, 1938 (Decapoda: Caridea: Atyidae) collected from Boso Peninsula, Tateyama City, Chiba Prefecture, eastern Japan. Crustacean Research, **46**, 83-94.
- 26 Morino, H., Kusano, H. and Holsinger, J.R. 2004: Description and distribution of *Crangonyx floridanus* (Crustacea: Amphipoda: Crangonyctidae) in Japan, an introduced freshwater amphipod from North America. Contribution from the Biological Laboratory, Kyoto University, **29**(4), 371-381.
- 27 長縄秀俊. 2001: 現世の「大型鰓脚類」の分類. 陸水学雑誌, **62**(1), 75-86.
- 28 Naganawa, H. 2018: First record of *Triops strenuous* Wolf, 1911 (Branchiopoda, Notostraca), a tadpole shrimp of Australian origin, from Japan. Crustaceana, **91**(4), 425-438.
- 29 中本博之・土岐頼三郎・野田圭典・江川和文. 2007: 有田川河口で観察した貝類. くろしお, (26), 52-54.
- 30 日本生態学会 (編). 2002: 外来種ハンドブック. 390pp. 地人書館, 東京.
- 31 日本造船研究協会. 1974: 安全性の高い長期防汚塗料の開発研究. 158pp. 日本船舶振興会, 東京.

- 32 西榮二郎・田中克彦. 2008: 瀬戸臨海実験所に保存されていたカンザシゴカイ科多毛類標本. 南紀生物, **50**(1), 155-157.
- 33 西川喜朗. 1995: 毒グモに注意! セアカゴケグモが大阪に上陸. Nature Study, **41**(12), 11-12.
- 34 西野麻知子. 2017: 日本への外来カワリヌマエビ属 (*Neocaridina* spp.) の侵入とその分類学的課題. 地域自然史と保全, **39**(1), 21-28.
- 35 丹羽信彰. 2017: 釣り餌用ブツエビ・シラサエビ (商品名) の輸入禁止の実態と影響および 2016TCS (7月11日-13日) シンガポール大会参加・発表報告. Cancer, **26**, 85-91.
- 36 Nunomura, N. 1987: Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan IV. Taxonomy of the families Trachelipidae and Porcellionidae. Bulletin of Toyama Science Museum, **11**, 1-76.
- 37 Nunomura, N. 1990: Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan V. Taxonomy of the families Armadillidiidae, Armadillidae and Tylidae, with taxonomic supplements to some other families. Bulletin of Toyama Science Museum, **13**, 1-58.
- 38 布村 昇. 2011: 富山市科学博物館収蔵資料目録第24号 甲殻類Ⅱ. 1-133. 富山市科学博物館.
- 39 大垣俊一. 2007: 田辺湾周辺における移入海産生物の出現傾向. 南紀生物, **49**(1), 16-22.
- 40 小野展嗣 (編). 2009: 日本産クモ類. 738pp. 東海大学出版会, 秦野.
- 41 大阪湾海岸生物研究会. 1986: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 1981~1985年の調査結果. 自然史研究, **2**(2), 35-49.
- 42 大阪湾海岸生物研究会. 1993: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 1986~1990年の調査結果. 自然史研究, **2**(9), 129-141.
- 43 大阪湾海岸生物研究会. 1996: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 1991~1995年の調査結果. 自然史研究, **2**(12), 167-179.
- 44 大阪湾海岸生物研究会. 2002: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 1996~2000年の調査結果. 自然史研究, **3**(1), 1-14.
- 45 大阪湾海岸生物研究会. 2007: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 2001~2005年の調査結果. 自然史研究, **3**(6), 93-106.
- 46 大阪湾海岸生物研究会. 2012: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 2006~2010年の調査結果. 自然史研究, **3**(13), 211-224.
- 47 大阪湾海岸生物研究会. 2018: 大阪湾南東部の岩礁海岸生物相: 2011~2015年の調査結果. 自然史研究, **4**(2), 17-38.
- 48 関根幹夫. 2018: 和歌山県におけるクロガケジグモの分布. くものいと, (51), 1-3.
- 49 篠川貴司. 1999: カブトエビの分布を調べてみよう!. 遺伝, **53**(7), 102-105.
- 50 竹門康弘・西野麻知子・川勝正治. 2006: 京都府外来生物データブック (種別個票) アメリカナミウズムシ. 京都府ホームページ: <http://www.pref.kyoto.jp/gairai/databook.html> (参照 2018-07-11).
- 51 谷川明男. 2018: 日本産クモ類目録 ver. 2018R2. <http://www.asahi-net.or.jp/~dp7a-tnkw/japan.pdf>
- 52 東條 清. 1997: 和歌山にもセアカゴケグモ (*Latrodectus hasseltii*) 現れる. 和歌山クモの会会報, (7), 6-8.

- 53 豊田幸詞・関慎太郎. 2014: 日本の淡水性エビ・カニ 日本産淡水性・汽水性甲殻類 102種. 255pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 54 上村 清. 2013: セアカゴケグモの耐寒性と毒作用. 環境管理技術, **31**(5), 184-194.
- 55 八木沼健夫. 1974: 日本の真正蜘蛛類相 (IV). 追手門学院大学文学部紀要, (8), 169-173.
- 56 八木沼健夫・新海栄一. 1976: 分布資料. *Atypus*, (66), 47-48.
- 57 Yamaguchi, T. 1977: Taxonomic studies on some fossil and recent Japanese Balanoidea. *Transactions of Proceedings of the Paleontological Society of Japan*, N. S., No. 107, 135-160.
- 58 山口寿之. 2014: 外来種ココポーマアカフジツボの国内分布. *Sessile Organisms*, **31**(2), 15-23.
- 59 山本虎夫. 1966: マミズクラゲの新産地. 南紀生物, **8**(2), 66.
- 60 山西良平・大谷道夫・沢 信史・鍋島靖信・有山啓之. 1984: 地の島(有田市)の潮間帯動物. くろしお, (3), 14-15.

その他の情報源

- 1 平嶋健太郎. 2005: 私信: 御坊市周辺、印南町のため池に発生したマミズクラゲ.
- 2 伊都振興局. 2005: 私信: 橋本市のため池に発生したマミズクラゲについて.
- 3 岩崎敬二. 2017~2018: 和歌山県レッドデータブック改訂関連現地調査結果.
- 4 長縄秀俊. 2018: 私信.
- 5 那賀振興局. 2000~2005: 私信: 那賀郡内のため池(岩出市、紀の川市)に発生したマミズクラゲについて.
- 6 白金晶子・浜崎健児. 2016: 矢作川中流における淡水産エビ・カニ類の生息状況および外来カワリヌマエビ属 *Neocaridina* の侵入. 第54回日本甲殻類学会大会講演.
- 7 内山りゅう. 2008: 私信: 白浜町のマミズクラゲについて.
- 8 和歌山県立自然博物館所蔵標本.
- 9 和田恵次. 2017: 和歌山県レッドデータブック改訂関連現地調査結果.
- 10 和田恵次. 2017: 和歌山県立自然博物館所蔵標本調査.
- 11 渡部哲也. 2017~2018: 和歌山県レッドデータブック改訂関連現地調査結果.

【植物】

- 1 Bossard, C. C., J. M. Randall and M. C. Hochovsky. 2000: *Invasive Plants California's Wildlands*. University of California, Berkeley. 360pp.
- 2 土永知子. 2002: 大杉谷・黒蔵谷の種子植物, 大塔山系大杉大小屋国有林・黒蔵谷国有林自然環境調査報告集, 72-82.
- 3 海老原淳. 2016: 日本産シダ植物標準図鑑 I. 475pp. 学研, 東京.
- 4 海老原淳. 2017: 日本産シダ植物標準図鑑 II. 507pp. 学研, 東京.
- 5 榎本 敬・狩山俊悟. 1999: 紀伊大島植物目録 高等植物, 京都大学大学院農学研究科付属亜熱帯植物実験所, 11-71.
- 6 藤井伸二・梅本信也. 2011: 粉白川河口(和歌山県那智勝浦町)の維管束植物相. 人間と環境, **2**, 61-72.
- 7 Global Compendium of Weeds. <http://www.hear.org/gcw/index.html>
- 8 橋本悟郎. 1996: ブラジル産薬用植物事典. 2177pp. アボック社, 鎌倉.
- 9 林 弥栄. 1985: 山溪カラー名鑑 日本の樹木. 751pp. 山と溪谷社, 東京.
- 10 Holm, L. G., J. V. Pancho, J. P. Herberger, and D. L. Plucknett. 1991: *A Geographical Atlas of World Weeds*. 391pp. Krieger Publishing Company, Malabar, Florida.

- 11 堀田 満・緒方 健・新田あや・星川清親・柳 宗民・山崎耕宇. 1989: 世界有用植物辞典. 1499pp. 平凡社, 東京.
- 12 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011: 日本カヤツリグサ科植物図譜. 782pp. 平凡社, 東京.
- 13 Institute of Pacific Islands Forestry. Pacific Island Ecosystems at Risk (PIER) Plant threats to Pacific ecosystems. <http://www.hear.org/pier/index.html>
- 14 岩槻邦男. 1992: 日本の野生植物 シダ. 516pp. 平凡社, 東京.
- 15 JF コード (日本花き取引コード) センター. <http://www.jfcode.jp/TOP.aspx> (JF)
- 16 角野康郎. 1994: 日本水草図鑑. 179pp. 文一総合出版, 東京.
- 17 角野康郎. 2014: ネイチャーガイド日本の水草. 328pp. 文一総合出版, 東京.
- 18 関西自然保護機構 (編). 1983: 友ヶ島学術調査. 296pp. 和歌山市.
- 19 勝山輝男. 2005: ネイチャーガイド日本のスゲ. 375pp. 文一総合出版, 東京.
- 20 熊野路編纂委員会 (編). 1984: 熊野中辺路 溪流と動植物. 193pp. 熊野中辺路刊行会, 田辺.
- 21 草薙得一・近内誠登・芝山秀次郎. 1994: 雑草管理ハンドブック. 597pp. 朝倉書店, 東京.
- 22 桑原義晴. 2008: 日本イネ科植物図譜. 503pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 23 増田泰久. 2001: 和歌山市におけるタンポポの分布推移. 紀州生物, (30), 59-62.
- 24 増田泰久. 2011: 和歌山城公園のタンポポについて. 紀州生物, (40), 17-18.
- 25 村瀬ますみ. 2004: 花壇の雑草アフリカフウチョウソウについて. 紀州生物, (33), 15-16.
- 26 村瀬ますみ. 2013: 植物分布資料ジュウニキランソウおよび外来植物. 紀州生物, (42), 18-22.
- 27 村瀬ますみ. 2014: 和歌山県の帰化植物. 紀州生物, (43), 20-24.
- 28 村瀬ますみ・岩本彰夫. 2010: 和歌山城公園の帰化植物 3 種. 紀州生物, (39), 7-9.
- 29 村瀬ますみ・温井俊勝. 2004: 和歌山県のツタノハルコウ. 紀州生物, (33), 19.
- 30 村瀬ますみ・温井俊勝・土井 浩・高須英樹. 2006: 水田の雑草アメリカコナギ. 紀州生物, (35), 13-14.
- 31 村田 源・レッドデータブック近畿研究会. 2004: 近畿地方植物誌. 257pp. 特定非営利活動法人大阪自然史センター, 大阪.
- 32 邑田 仁・米倉浩司. 2012: 日本維管束植物目録. 384pp. 北隆館, 東京.
- 33 長田武正. 1975: 日本帰化植物圖鑑. 354pp. 北隆館, 東京.
- 34 長田武正. 1989: 増補日本イネ科植物図鑑. 759pp. 平凡社, 東京.
- 35 内藤麻子. 2018: 和歌山県産帰化植物目録 V. 和歌山県立自然博物館館報, (36), 53-59.
- 36 中村正寿 (編). 1976: 和歌山公園および岡公園の植生等調査報告書. 70pp. 和歌山市.
- 37 中嶋章和・瀬戸 剛・佐久間大輔. 1997: 真砂久哉氏採集, 和歌山県産シダ植物標本目録. 118pp. 大阪市立自然史博物館, 大阪.
- 38 沼田 真・吉沢長人 (編). 1975: 新版日本原色雑草図鑑. 414pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 39 岡部種造・三尾喜太郎. 1982: 和歌山県紀北部、紀中部両地域の帰化植物. 68pp. 自家出版, 湯浅.
- 40 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 2015: 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp, pl. 1~272. 平凡社, 東京.
- 41 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 2016: 改訂新版日本の野生植物 2. 381pp. pl. 1~256. 平凡社, 東京.

- 42 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 2016: 改訂新版日本の野生植物 3. 338pp. pl. 1~264. 平凡社, 東京.
- 43 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 2017: 改訂新版日本の野生植物 4. 348pp. pl. 1~256. 平凡社, 東京.
- 44 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司・木原 浩 (編). 2017: 改訂新版日本の野生植物 5. 474pp. pl. 1~284. 平凡社, 東京.
- 45 大川智史・林 将之. 2016: 琉球の樹木. 487pp. 文一総合出版, 東京.
- 46 大野照好・片野田逸朗. 1999: 琉球弧・野山の花 from AMAMI - 太陽の贈り物 -. 221pp. 南方新社, 鹿児島.
- 47 尾崎 章・河瀬晃四郎・山中雅也. 1991: 山溪カラー名鑑 観葉植物. 655pp. 山と溪谷社, 東京.
- 48 斎藤洋三・井出 武・村山貢司. 2006: 新版花粉症の科学. 180pp. 化学同人, 東京.
- 49 坂崎信之. 1998: 日本で育つ熱帯花木植栽事典 トロピカルガーデニングマニュアル. 1211pp. アボック社, 鎌倉.
- 50 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫. 1989: 日本の野生植物, 木本 I. 321pp. 平凡社, 東京.
- 51 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫. 1989: 日本の野生植物, 木本 II. 305pp. 平凡社, 東京.
- 52 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1982: 日本の野生植物, 草本 I, 単子葉類. 250pp. 平凡社, 東京.
- 53 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1982: 日本の野生植物, 草本 II, 離弁花類. 318pp. 平凡社, 東京.
- 54 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫. 1982: 日本の野生植物, 草本 III, 合弁花類. 250pp. 平凡社, 東京.
- 55 清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七. 2001: 日本帰化植物写真図鑑. 554pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 56 清水矩宏・宮崎 茂・森田弘彦・廣田伸七. 2005: 牧草・毒草・雑草図鑑. 288pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 57 清水建美. 2003: 日本の帰化植物. 480pp. 平凡社, 東京.
- 58 白浜町誌編纂委員会 (編). 1982: 白浜町誌自然編 白浜の自然. 272pp. 白浜町.
- 59 自然環境研究センター. 2008: 日本の外来生物. 472pp. 平凡社, 東京.
- 60 鈴木基夫・横井政人. 1998: 山溪カラー名鑑 園芸植物. 671pp. 山と溪谷社, 東京.
- 61 Suzuki, T., Watanabe, I. & Shiraiwa, T. 2005: Allozyme types of water fern *Azolla japonica* and its relatives (Azollaceae) growing in Japan. APG, **56**(1), 71-83.
- 62 太刀掛優・中村慎吾. 2007: 改訂増補帰化植物便覧. 676pp. 比婆科学教育振興会, 庄原.
- 63 高橋秀男・勝山輝男. 2000: 山溪ハンディ図鑑 3, 樹に咲く花, 離弁花①. 720pp. 山と溪谷社, 東京.
- 64 高橋秀男・勝山輝男. 2000: 山溪ハンディ図鑑 4, 樹に咲く花, 離弁花②. 720pp. 山と溪谷社, 東京.
- 65 高橋秀男・勝山輝男. 2000: 山溪ハンディ図鑑 5, 樹に咲く花, 合弁花・単子葉・裸子植物. 720pp. 山と溪谷社, 東京.
- 66 高野信雄. 1989: 粗飼料・草地ハンドブック. 948pp. 養賢堂, 東京.
- 67 竹松哲夫・一前宣正. 1987: 世界の雑草 I, 合弁花類. 712pp. 全国農村教育協会, 東京.

- 68 竹松哲夫・一前宣正. 1993: 世界の雑草Ⅱ, 離弁花類. 856pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 69 竹松哲夫・一前宣正. 1993: 世界の雑草Ⅲ, 単子葉類. 1058pp. 全国農村教育協会, 東京.
- 70 塚本洋太郎. 1994: 園芸植物大事典全3巻. 3710pp. 小学館, 東京.
- 71 土橋 豊. 2013: 日本で見られる熱帯の花ハンドブック. 176pp. 文一総合出版, 東京.
- 72 豊田武司. 2003: 小笠原植物図譜 増補改訂版. 522pp. アボック社, 鎌倉.
- 73 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 2010: 日本帰化植物写真図鑑第2巻. 579p. 全国農村教育協会, 東京.
- 74 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田光雄・森田弘彦・廣田伸七・池原直樹. 2015: 増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻. 595p. 全国農村教育協会, 東京.
- 75 United States Department of Agriculture, Natural Resources Conservation Service, plants Database. <http://plants.usda.gov/java/>
- 76 山元 晃. 1988: 和歌山県帰化植物目録(1). 和歌山県立自然博物館館報, (6), 56-92.
- 77 山元 晃. 1989: 和歌山県帰化植物目録(2). 和歌山県立自然博物館館報, (7), 25-30.
- 78 山元 晃. 1994: 和歌山県帰化植物目録(3). 和歌山県立自然博物館館報, (12), 31-54.
- 79 山元 晃. 2000: 和歌山県帰化植物目録(4). 和歌山県立自然博物館館報, (18), 39-50.
- 80 山元 晃. 2011: J R 和歌山線の外来植物. 紀州生物, (40), 25-30.
- 81 山元 晃. 2015: 自然の扉 世界遺産高野山町石道の草木花と寄り道. 155pp. あいり出版, 京都.
- 82 山元 晃・村瀬ますみ. 2013: 和歌山城公園の維管束植物追加と訂正. 紀州生物, (42), 23.
- 83 山元 晃・坂口総之輔・増田泰久・岩崎一夫・土井 浩・松下 太・温井俊勝・山本幸司・稲野政則・村瀬ますみ. 2011: 和歌山城公園の維管束植物. 紀州生物, (40), 1-9.
- 84 山本修平・中野玖美子. 2007: 高野山植物目録. 77pp. ウイング, 和歌山.
- 85 山崎美津夫・山田 洋. 1994: 世界の水草Ⅰ. 171pp. ハロウ出版社, 北方町.
- 86 山崎美津夫・山田 洋. 1994: 世界の水草Ⅱ. 167pp. ハロウ出版社, 北方町.
- 87 山崎美津夫・山田 洋. 1994: 世界の水草Ⅲ. 179pp. ハロウ出版社, 北方町.
- 88 米倉浩司・梶田 忠. 2003-: BG Plants 和名-学名インデックス (YList). http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_main.html
- 89 和歌山県立自然博物館. 2004: 小川植物コレクション標本目録. 292pp. 第一製版印刷, 和歌山.
- 90 Weber, E. 2003: Invasive Plant Species of the World. A Reference Guide to Environmental Weeds. 550pp. CABI Publishing.